

芹沢銈介と 沖縄

芹沢と沖縄との、
半世紀以上にもおよんだ深い交流。
作品と収集品150点を通してたどります。

2022年 10/8(土)⇒12/11(日)

【出品協力】 柏市、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、日本民藝館

静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目 10-5 (登呂公園内) TEL ▶ 054-282-5522
HP ▶ www.seribi.jp Twitter ▶ @seribi_shizuoka (フォローはこちら⇒)

【手前】 芹沢銈介作「芭蕉文着物」(1961)

【奥】 芹沢銈介収集「斜格子に笠牡丹雪輪橘桜文紅型着物」(19世紀) ※前期展示



「沖縄は全く私の竜宮です」

芹沢銈介と沖縄との、半世紀以上にもおよんだ深い交流をたどります。

紅型との出会い

昭和3(1928)年、芹沢銈介は沖縄の紅型を見て衝撃を受け、以後本格的に染色家を目指して歩きはじめました。著書『琉球の形附』のなかで『びんがた』はあけすけに、すべてを語って呉れたので、和染の道も迷わず誤らず歩くことが出来たと思っております」と書いている通り、芹沢にとって紅型は染色の羅針盤のような存在でした。

初めて沖縄の地を踏む

11年後の昭和14(1939)年、芹沢は初めて沖縄の土を踏んでいます。59日間にわたり柳宗悦らとともに那覇に滞在し、紅型の技術を習得しました。また本島各地や久米島を旅し、沖縄での日々を満喫しました。帰宅後、「沖縄絵図」「沖縄風物」「沖縄三人女」など沖縄に取材した型染作品を立て続けに制作しましたが、これほどのペースで制作に打ち込んだ時期はなく、沖縄旅行で得たものの大きさがうかがえます。

戦後、紅型への思い

戦後も5度沖縄を訪ねました。戦争によってすっかり変わってしまった沖縄の風景を嘆きながらも、新たに芽吹きつつある紅型を「根から新しい芽を出し、花を咲かせたのが今日の紅型」と評価し、沖縄の復興を静かに見守っていました。戦後も「沖縄みやげ」「二曲屏風」や、沖縄の風物・人物を採り上げたガラス絵など、数多くの作品を制作しています。

生涯の師・紅型

最晩年に至っても「頭から爪先まで紅型でいっぱいです」と語っていた芹沢。芹沢にとって紅型とは、単に仕事に影響を与えたものというだけでなく、自分の内面に満ちる仕事の源泉といえるものでした。紅型は、生涯にわたって芹沢のバックボーンであり続けました。



首里城にて(1939年4月) (左から) 柳宗悦、芹沢銈介、濱田庄司、柳宗悦、河井寛次郎、(2人おいて) 田中俊雄 写真提供: 日本民藝館



【開館時間】9:00～16:30

【休館日】毎週月曜日(10/10は開館)、10/11、11/4、11/24

【観覧料】一般420円/高校生・大学生260円/小学生・中学生100円/未就学児無料

(団体割引は30名以上でご利用いただけます)

※静岡市内在住の70歳以上の方・小中学生(通学含む)無料

※障がい者手帳等の提示により本人及び同伴者1名無料

【交通】

<バス> 静岡駅南口 22 番バスのりばから

「登呂遺跡」行き乗車、約10分終点下車

<タクシー> 静岡駅南口から登呂公園へ約10分

<東名高速> 静岡 I.C. または日本平久能山スマート I.C. より約10分

<駐車場> 登呂公園南側に有料駐車場があります(1日400円)



- 1 ガラス絵「沖縄国頭にて」(1971)
- 2 「沖縄笠団扇文部屋着」(1960)
- 3 「壺屋のろくろ師と琉装の女」(1939) 柏市蔵
- 4 「沖縄絵図」(1939) 日本民藝館蔵
- 5 「赤絵小皿」(1940頃) 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館蔵
- 6 ガラス絵「シーサー」(1979) 柏市蔵
- 7 「沖縄三人女」(1939) 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館蔵

(所蔵先の記載のないものはすべて静岡市立芹沢銈介美術館蔵)

※会期中、一部収集品の展示替を行います。

【前期】10/8(土)～11/13(日) 【後期】11/15(火)～12/11(日)

芹沢銈介が収集した 沖縄の工芸

展示室後半には、芹沢自身が収集した紅型の着物をはじめとして、陶磁器、漆器、玩具など、沖縄の工芸品 50 点を展示します。優れた紅型コレクションを含む芹沢の収集をどうぞお楽しみください。



- 8 露に梅枝垂桜燕雀流水に蛇龍葵菖蒲文紅型着物 ※前期展示
- 9 流掛抱瓶(だちびん)
- 10 沖縄張り「起き上がりこぼし」
- 11 朱漆螺鈿盆
- 12 「永」字入牡丹文紅型風呂敷(うちくい)



静岡市立芹沢銈介美術館

静岡市駿河区登呂五丁目 10-5 TEL ▶ 054-282-5522

HP ▶ www.seribi.jp Twitter ▶ @seribi_shizuoka



●ワークショップなどのイベントを開催する予定です。詳しくはホームページやTwitterをご覧ください。●新型コロナウイルス感染防止対策へのご協力をお願いします。